

癌化学療法名 肺癌【非小細胞(非扁平上皮癌) カルボプラチン・ペメドレキサド療法

実施部署	入院	1クール日数	21day	未承認
番号	抗がん剤名・略称	1日投与量	投与方法	投与日
1	ペバシズマブ: アバスチン	15mg/kg	div.(点滴静注)	day1
2	カルボプラチン(CBDCA): カルボプラチン	AUC 5	div.(点滴静注)	day1
3	ペメドレキサド: アリムタ	500mg/m ²	div.(点滴静注)	day1

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アバスチンは、非扁平上皮の非小細胞肺癌に対してのみ推奨される。 ・アバスチン使用前に喀血や塞栓のリスクを再確認。喀血(2.5mL以上の鮮血を喀出)の既往には禁忌。脳転移がある患者は慎重投与。 ・アバスチン使用前28日以内に大きな外科的手術が行われていないか確認。 ・アリムタは、非扁平上皮癌に対してのみ推奨される。 ・シスプラチンによる毒性が懸念される症例や外来化学療法を行う症例に勧められる。 ・カルボプラチンは中等度催吐リスクだが、長時間型制吐剤アロキシ注を使用することを推奨して ・治療1週間前より、副作用予防としてビタミンB12 1g(メチコバル注500μg 2管)を筋注(9週毎) ・治療1週間前より、副作用予防として葉酸0.5mg(パンビタン末1g)を経口内服(連日)、アリムタ最終投与から22日目まで可能な限り服用する。・・・光に不安定のため遮光必要 ・出来れば、皮疹予防のためにデキサメタゾン8mgを投与前日、当日、翌日に経口又は注射にて投与するのが望ましい
------	--

投与日	薬剤名	ルート	時間
アリムタ投与 7日前～	① メチコバル注 500μg 2A	筋注	9週毎
	② 調剤用パンビタン末(葉酸0.5mg/g) 1g	経口	連日
day1	① アバスチン15mg/kg + 生食100mL	div	90分
	② アロキシ注0.75mg + デキサート注 + 生食100mL	div	15分
	③ アリムタ注射用500mg/m² + 生食100mL	div	10分
	④ カルボプラチン AUC5 + 生食250mL	div	1時間
	⑤ 生食50mL		フラッシュ